

「グローバル社会で活躍できる人材の育成」に関する意見交換資料

平成28年12月21日 総合教育会議 教育委員会提出

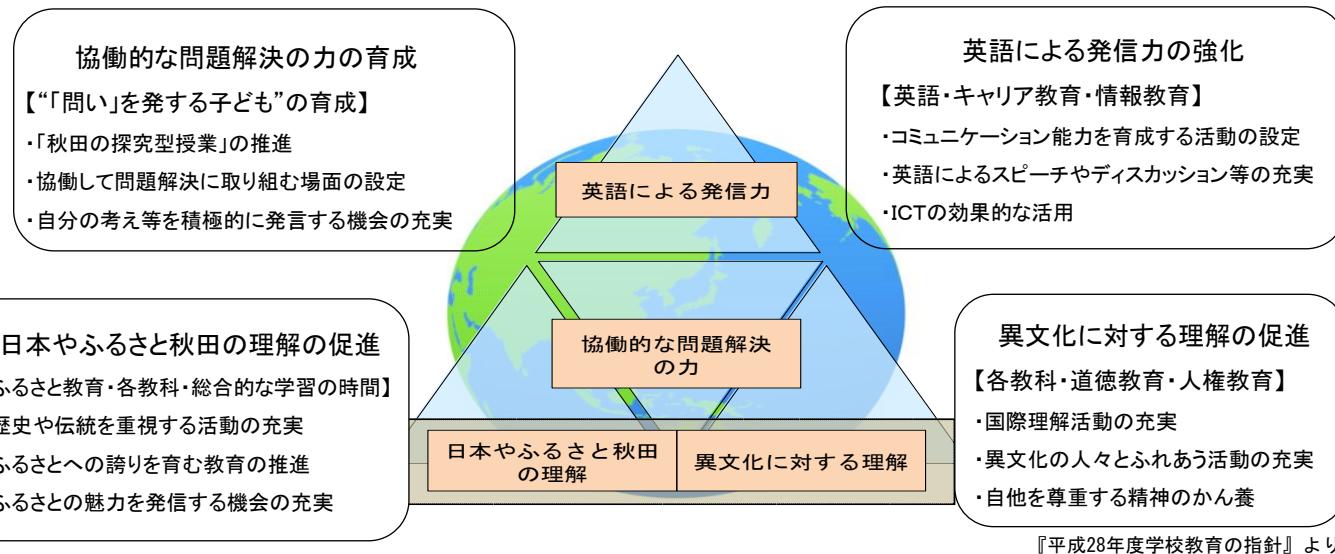
1 グローバル化とは

「グローバル化」とは、情報通信技術の進展、交通手段の発達による移動の容易化、市場の国際的な開放等により、人、物材、情報の国際的移動が活性化して、様々な分野で「国境」の意義があいまいになるとともに、各国が相互に依存し、他国や国際社会の動向を無視できなくなっている現象ととらえることができる。特に「知」はもともと容易に国境を越えるものであることから、グローバル化は教育と密接な関わりをもつ。さらに「国際化」はグローバル化に対応していく過程ととらえることができる。教育分野では、諸外国との教育交流、外国人材の受入れ、グローバル化に対応できる人材の養成などの形で、国際化が進展している。
(文部科学省HPより)

2 県教育委員会の取組

グローバル社会で活躍できる人材

【 】は関連する主な教育活動



『平成28年度学校教育の指針』より

3 生徒の英語力、グローバル人材育成に関する県民の意識等

(1) 【数値目標の達成状況】

①英検3級相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合

	H25	H26	H27	H28	H29
目標値	—	42%	45%	48%	51%
達成値	38.4%	44.6%	48.6%		

(出典) H27 公立中学校英語教育実施状況調査

②英検準2級相当以上の英語力を有すると思われる高校3年生の割合

	H25	H26	H27	H28	H29
目標値	—	36%	40%	45%	51%
達成値	34.1%	34.9%	35.8%		

(出典) H27 公立高校英語教育実施状況調査

文部科学省では中学校及び高校卒業時に求められる英語力をそれぞれ英検3級相当以上、英検準2級相当以上とし、それぞれの達成目標を50%以上としている。昨年度の本県の状況は、中学校で全国2位、高校は全国19位である。実際の英検取得率は、中学校は全国1位[39.7%]、高校は全国9位[15.3%]である。

③県内高等教育機関への外国人留学生数 ※各年10月1日現在の在籍留学生数（短期留学生を含む。）

	H25	H26	H27	H28	H29
目標値	—	468人	482人	496人	510人
現状値	454人	444人	489人		
達成率	—	94.9%	101.5%		

(出典) 秋田地域留学生等交流推進会議調べ

④県内高等教育機関から海外への留学生数 ※当該年度の海外留学生数（短期留学生を含む。）

	H25	H26	H27	H28	H29
目標値	—	348人	388人	428人	468人
現状値	317人	304人	319人		
達成率	—	87.4%	82.2%		

(出典) 学術振興課調べ

留学生の受入れについては高等教育機関の方針と取組によるところが大きいことから、県としては、留学生への生活支援や県民との交流促進に取り組んでおり、外国人相談センターによる相談受けや、県民との交流に積極的な留学生へ家賃を補助する高等教育機関に対し助成を行っている。



専門高校生海外企業研修の様子

「小学校外国語活動教員研修」の様子

「English Camp」の様子

<H24～H27：高校生36名参加>

<H21～：小学校教員320名参加>

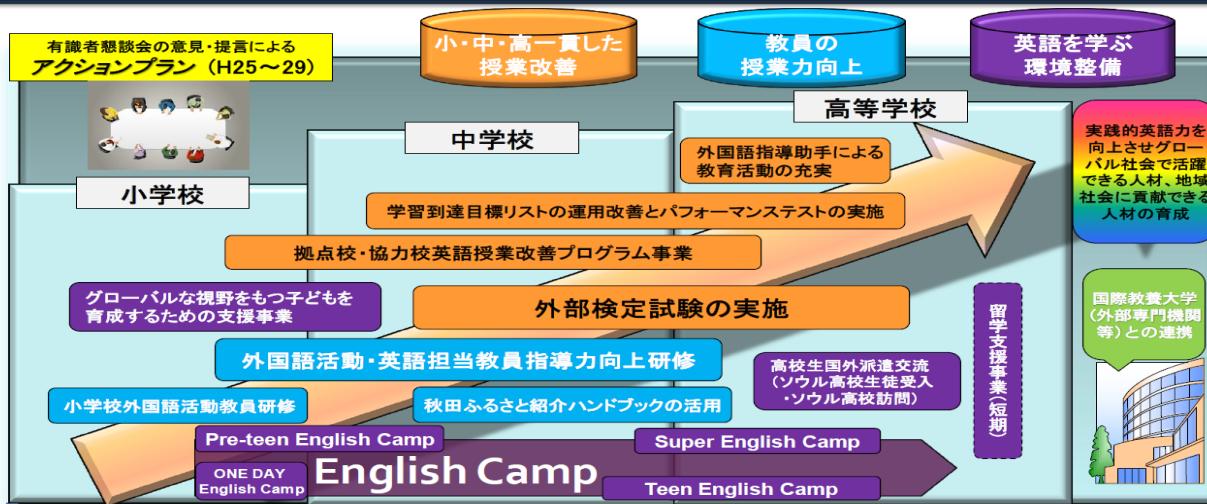
<H25～：児童生徒3,027名参加>

あきた発！英語コミュニケーション能力育成事業

H25-29

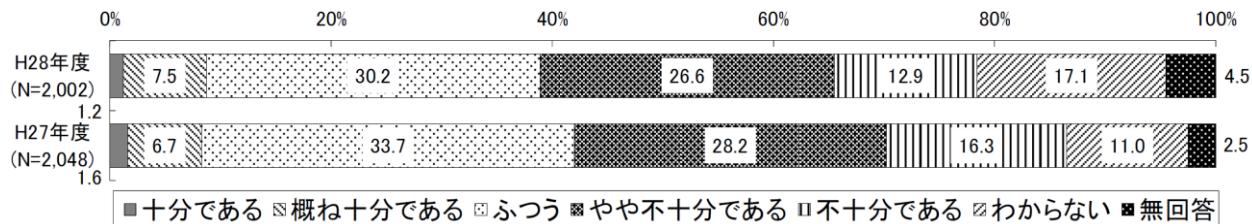
小・中・高の連携を図り、英語コミュニケーション能力を身に付けた子どもの育成を目指す。

(方策) 外部専門機関等との連携により、英語担当教員の指導力向上を図るとともに、児童生徒の英語を学ぶ環境を整備する。



秋田県教育委員会

(2) 【グローバル社会で活躍できる人材の育成に対する県民の意識】



グローバル社会で活躍できる人材の育成についてどのように評価するかとの質問に対し、全体では、「十分である」が1.2%、「概ね十分である」が7.5%となり、「ふつう」の30.2%を合わせると肯定的に感じている人は38.9%となっている。「不十分である」の12.9%と「やや不十分である」の26.6%を合わせて39.5%の人が不十分であると感じている。「わからない」は17.1%となっている。

平成28年度[県民意識調査報告書]より

4 国際交流の状況

(1) 小・中学校(平成27、28年度) 義務教育課調べ 平成28年5月1日現在

① 学校間交流

校種	管内	学校名	H27	H28	H28参加者数	交流相手	交流方法
小学校	中央	高清水小	○	○	293名	インシュタット小学校(独)	電子メールや手紙の交換
		由利小	○	○	35名	キャントン・シティ小学校(豪)	ビデオレター等の交換
	南	白岩小	○	○	109名	ハイ・コニスクリフ小学校(英)	X'masカード等の交換
		(交流実施校数)	3校	3校	520名		
中学校	北	大館国際中	○	○	210名	カンブライア高校(豪) 光明高(韓)	互いにホームステイ
	中央	岩見三内中	○	○	29名	エッガーズスクール(豪)	TV会議システム
		大湯中	○	○	4名	臨陂中学校(韓)	相手校を訪問
		仁賀保中	○	○	300名	ショウニー中学校(米)	相互訪問
		象潟中	○	○	16名	アナコーテス中学校(米)	相手校が自校を訪問
	南	秋田南高等部	○	○	80名	未定	相手校が自校を訪問
		西仙北中	○	未定	未定	サーニ・ラークソ中学校(フィンランド)	相手校が自校を訪問
		大曲南中	○	—	—	北フュン島高校(デンマーク)	相手校が自校を訪問
	(交流実施校数)		8校	7校	660名		
		東成瀬中	○	○	21名	マックスカド'ミラギ'ムジ'ム(独)	TV会議
					諸外国(秋田大学留学生)	自校訪問/Eキャン	

② 市村等派遣事業

市町村名	H27実績	H28計画	派遣先	日数	H27派遣数	H28派遣数
大館市	○	○	ニュージーランド	8日間	16名	16名
湯上市	○	○	オーストラリア	8日間	12名	12名
大湯村	○	○	韓国	5日間	5名	15名
由利本荘市	○	—	ハンガリー	9日間	11名	—
にかほ市	○	○	アメリカ	8日間	46名	28名
大仙市	○	○	オーストラリア	9日間	20名	17名
湯沢市	○	—	ドイツ	10日間	13名	—
大館国際中	—	○	オーストラリア	10日間	—	10名
(合計)					123名	98名

(2) 高等学校(平成28年度) 高校教育課調べ 平成28年10月25日時点

① ソウル高校との交流(平成20年度から「高校生パワーアップ推進事業」の一環として実施)

- ・日韓の高校生が交流することにより、国際的視野を深め、異文化理解と国際協調の精神を培うとともに、友好親善を図る。
- ・ソウル高校生徒の受入れ・交流や、本県の高校生と教員をソウル高校に派遣し、課題研究発表やホームステイなどを行うことにより、自己啓発や学習への動機付けを図るとともに、教員の指導力向上を目指す。
- ・今年度までに計264名の生徒が韓国への派遣交流を経験している。

② 海外修学旅行[7校]

地区	学校名	交流予定	訪問国	期日	実施学年	参加生徒数	引率教員数	現地校との交流校・生徒
北	大館国際学院	○	シンガポール	11/3-7	2	35	4	現地大学生
中央	秋田南	○	オーストラリア	11/7-12	2	35	3	St. Brigide's Catholic College
	本荘	○	台湾	12/8-12	2	40	4	台北市立陽明高級中学校
	由利	○	オーストラリア	11/3-7	2	38	3	現地学生
南	角館	○	台湾	11/6-9	2	39	3	台湾師範大学付属高級中学
	横手	○	シンガポール	9/26-30	2	36	3	現地学生
	横手清陵	○	シンガポール	12/12-16	2	15	3	
	計	7				238	23	

③ 国際交流(修学旅行及び高校教育課事業分を除く。)[9校]

地区	学校名	交流予定	国名	実施時期(月)	日数	参加生徒数	引率教員数	交流内容	交流先学校名
北	大館鳳鳴	○	タイ	10月受入	5	6	3	授業参加、交流会等	・ブリセキフューション科学高校
				1月派遣	7	12	2	研究発表、交流会等	
	大館国際	○	韓国	7月派遣	6	15	3	授業参加、交流会	・光明高校
				1月受入	6	15	3	授業参加、交流会	・カブライヤ・カレッジ
	秋田北鷹	○	イギリス	9月受入	7	10	(未定)	授業参加、交流会	・アガペー・セカンダリー・カレッジ
				7月派遣	5	5	2	モデルロケット国際大会出場	・大会参加校
能代松陽	○	アメリカ	11月派遣	4	4	1	(研究発表、交流会等)	・龍潭高級中学	
			1月派遣	17	20	2	ホームステイ、語学研修	・オーケバー・リパ・フォレスト高校	
中央	秋田	○	タイ(未定)						
	秋田南	○	オーストラリア	11月派遣	6	35	3	課題研究のための調査及び交流	
	由利	○	台湾	1月派遣	7	3	2	授業参加	・台湾員美女子高級中学
南	西仙北	○	デンマーク	1月派遣	7	5	2	国際交流及び福祉研修	
				7月派遣	4	10	3	ホームステイ、授業体験	・明文高校
	横手城南	○	韓国	10月受入	4	10	3	ホームステイ、授業体験	
	計	9				150	29		

(3) タイとの交流(秋田の教育資産を活用した海外交流促進事業)

平成28年度は、タイ王国バンコク都及びノンタブリ県の研究協力校(小学校)を訪問して、「秋田の探究型授業」に基づく授業を提示するとともに、タイから教育関係者を招き、連携教育機関とグローバル社会に対応した授業モデルの在り方等についての共同研究を行っている。

また、平成29年1月に本県の高校2年生16名と引率教員等8名を、優れた教育実践を行い実績のあるバンコク・クリスチャン・カレッジに派遣し、課題研究発表等を行い交流を図る予定である。

